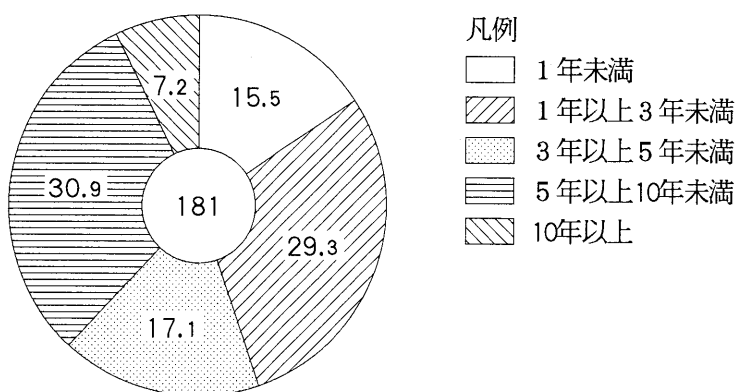


Ⅲ. ボランティアの意識

Q1：ボランティア活動を始められてから何年になりますか（○は1つ）。

- ・ボランティア活動を始めてからの年数については、3年未満が40%以上を占めるているのに対し、5年以上の経験者も40%近くに及んでいる。
- ・ボランティア制度を新しく導入したところも多い一方で、ある程度の歴史がある事例では、導入当初から継続して活動している人の層も厚いことがわかる。



	調査数	Q1 ボランティア活動を始めてからの年数					
		1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	
合計	181	28	53	31	56	13	
	100.0	15.5	29.3	17.1	30.9	7.2	
調査時点	喜多方プラザ	24	4	4	4	5	7
		100.0	16.7	16.7	16.7	20.8	29.2
	武生市文化	31	6	6	7	11	1
		100.0	19.4	19.4	22.6	35.5	3.2
	いまだて芸術館	26	5	3	6	9	3
		100.0	19.2	11.5	23.1	34.6	11.5
	大阪府立	16	4	9	1	1	1
	100.0	25.0	56.3	6.3	6.3	6.3	
たんば田園交響	70	5	21	13	30	1	
	100.0	7.1	30.0	18.6	42.9	1.4	
春日ふれあい文化	14	4	10	-	-	-	
	100.0	28.6	71.4	-	-	-	

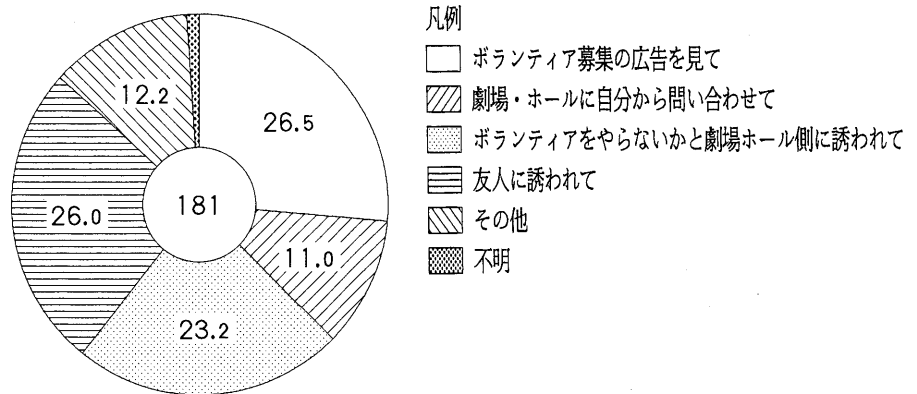
Q2：ボランティアを始められたきっかけは何ですか（○は1つ）。

- ・ボランティアを始められたきっかけは、「ボランティア募集の広告を見て」、「劇場・ホールに自分から問い合わせる」など自発的なものが36.5%であるのに対し、「劇場・ホール側に誘われて」や「友人に誘われて」など、む

■ ボランティア参加者の意識

しる受動的なきっかけで始めた人も半数近くを占めている。

- また『武生国際音楽祭』では、会場となる武生市文化センターの職員は音楽祭のボランティアとしても活動することになっており、「たまたま職場が文化センターだったから」というスタンスの場合もある。

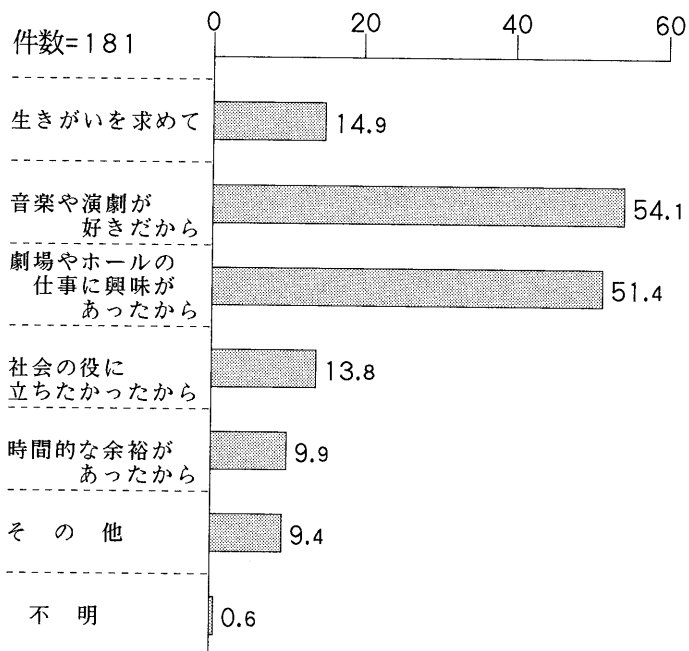


	調査数	Q2 ボランティアを始めたきっかけ					
		ボランティア募集の広告を見て	劇場・ホールに自分から問い合わせ	ボランティアをやらなかと劇場ホール側に誘われて	友人に誘われて	その他	不明
合計	181	48	20	42	47	22	2
	100.0	26.5	11.0	23.2	26.0	12.2	1.1
調査時点	喜多方プラザ	24	2	1	9	10	2
		100.0	8.3	4.2	37.5	41.7	8.3
	武生市文化	31	-	1	8	10	12
		100.0	-	3.2	25.8	32.3	38.7
	いまだて芸術館	26	6	1	8	6	5
		100.0	23.1	3.8	30.8	23.1	19.2
	大阪府立	16	8	1	2	4	1
	100.0	50.0	6.3	12.5	25.0	6.3	
たんば田園交響	70	22	16	13	16	2	
	100.0	31.4	22.9	18.6	22.9	2.9	
春日ふれあい文化	14	10	-	2	1	-	
	100.0	71.4	-	14.3	7.1	-	

Q3 : ボランティアを始められた理由は何ですか (〇は2つまで)。

- 実際にボランティアを始めた理由については、「音楽や演劇が好きだから」(54.1%)、「劇場やホールの仕事に興味があったから」(51.4%)が群を抜いており、逆に「生きがいを求めて」(14.9%)や「社会の役に立ちたかったから」(13.8%)などの数値が低くなっている点は、“文化系ボランティア”の特徴と言える。
- 「その他」の回答の中には、「新しい出会いを求めて」という個人的な理由から「地域に対する愛着」など地域の活性化を視野に入れて参加しているものなど、多様な意見がみられた。

Q3 ボランティアを始めた理由



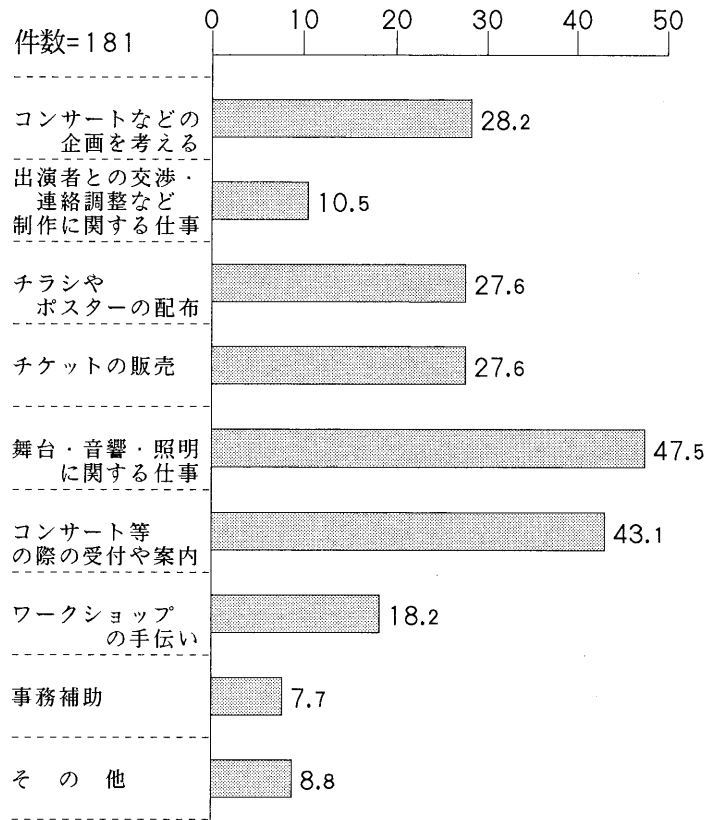
	調査数	Q3 ボランティアを始めた理由							合計反応数
		生きがいを求めて	音楽や演劇が好きだから	劇場やホールの仕事に興味があったから	社会の役に立ちたかったから	時間的な余裕があったから	その他	不明	
合計	181	27	98	93	25	18	17	1	278
	100.0	14.9	54.1	51.4	13.8	9.9	9.4	0.6	
調査地点	喜多方プラザ	24	10	15	4	3	2	-	34
		100.0	-	41.7	62.5	16.7	12.5	8.3	-
	武生市文化	31	6	15	5	11	2	6	45
		100.0	19.4	48.4	16.1	35.5	6.5	19.4	-
	いまだて芸術館	26	8	15	5	4	2	1	35
		100.0	30.8	57.7	19.2	15.4	7.7	3.8	3.8
	大阪府立	16	2	12	9	1	1	2	27
	100.0	12.5	75.0	56.3	6.3	6.3	12.5	-	
たんば田園交響	70	8	37	52	5	7	3	112	
	100.0	11.4	52.9	74.3	7.1	10.0	4.3	-	
春日ふれあい文化	14	3	9	7	-	3	3	25	
	100.0	21.4	64.3	50.0	-	21.4	21.4	-	

Q4 : ボランティアでどのような仕事をしていますか (〇はいくつでも)。

- ・具体的なボランティア活動の内容としては、いわゆる裏方の「舞台・音響・照明に関する仕事」(47.5%)や、表方の「コンサート等の際の受付や案内」(43.1%)が上位を占める。
- ・一方で、ボランティアが実際に関わっている業務は企画・制作、広報、チケット販売から事務補助まで多岐にわたり、公共ホール・劇場の業務ほぼ全般にわたって活動している状況がうかがえる。一人で複数の仕事に関わっている人も少なくなく、個々の役割は明確には分かれていないようである。

■ ボランティア参加者の意識

Q4 ボランティア活動の内容



	調査数	Q4 ボランティア活動の内容									合計反応数
		コンサートなどの企画を考える	出演者との交渉・連絡調整など制作に関する仕事	チラシやポスターの配布	チケットの販売	舞台・音響・照明に関する仕事	コンサート等の際の受付や案内	ワークショップの手伝い	事務補助	その他	
合計	181	51	19	50	50	86	78	33	14	16	397
調査地点	喜多方プラザ	24	1	1	1	21	4	2	-	2	33
	武生市文化	31	8	3	14	20	18	15	8	9	98
	いまだて芸術館	26	11	5	5	11	5	5	1	1	55
	大阪府立	16	5	6	7	-	7	8	7	4	47
	たんば田園交響	70	18	3	12	16	46	23	4	-	122
	春日ふれあい文化	14	8	1	11	2	4	14	-	1	42
		100.0	57.1	7.1	78.6	14.3	28.6	100.0	-	7.1	7.1

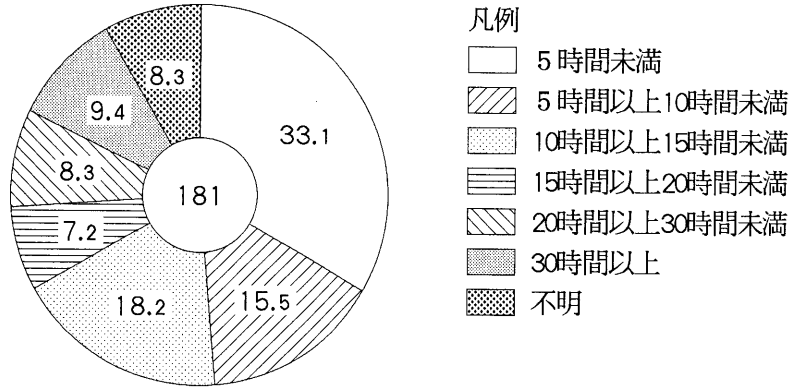
Q5-1 それらの仕事に、平均してひと月に何時間くらい従事していますか。

- ・ひと月にボランティア活動に従事する時間は、「5時間未満」が33.1%で最も多いが、「20時間以上30時間未満」、「30時間以上」も各々10%近くお

■ ボランティア参加者の意識

り、平均すると約11時間半となっている。

- ・事例別の平均では、『大阪府立青少年会館』の24.43時間が最も多く、『いまだて芸術館』の15.54時間がそれに次いでいるが、それ以外はおおよそ10時間前後である。
- ・フェスティバルの開催期間中に業務が集中する『武生国際音楽祭』では、開催期間中30～40時間というケースも珍しくないようである。

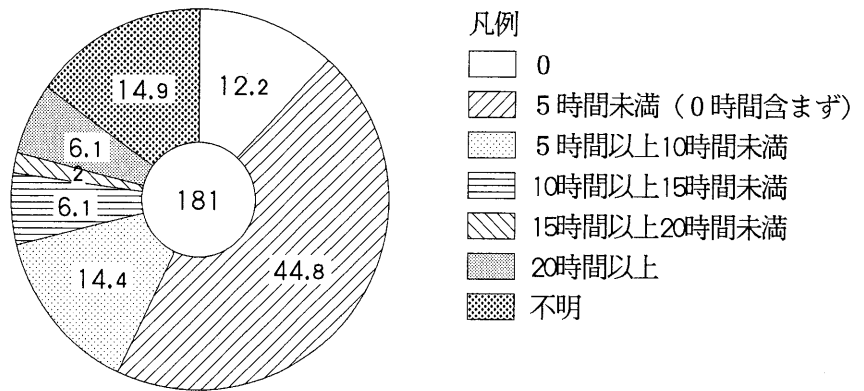


	調査数	Q5 A ひと月にボランティア活動に従事する時間							調査数	Q5.1 平均	
		5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上15時間未満	15時間以上20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上	不明			
合計	181 100.0	60 33.1	28 15.5	33 18.2	13 7.2	15 8.3	17 9.4	15 8.3	166 100.0	11.57	
調査時点	喜多方プラザ	24 100.0	7 29.2	5 20.8	5 20.8	2 8.3	2 8.3	2 8.3	1 4.2	23 13.9	10.04
	武生市文化	31 100.0	12 38.7	3 9.7	5 16.1	1 3.2	1 3.2	3 9.7	6 19.4	25 15.1	9.16
	いまだて芸術館	26 100.0	9 34.6	2 7.7	5 19.2	1 3.8	3 11.5	6 23.1	-	26 15.7	15.54
	大阪府立	16 100.0	1 6.3	1 6.3	7 43.8	1 6.3	-	4 25.0	2 12.5	14 8.4	24.43
	たんば田園交響	70 100.0	29 41.4	14 20.0	8 11.4	6 8.6	8 11.4	2 2.9	3 4.3	67 40.4	9.09
	春日ふれあい文化	14 100.0	2 14.3	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	-	3 21.4	11 6.6	9.55

Q5-2 仕事以外の研修会、勉強会、懇親会などには、平均してひと月に何時間くらい従事していますか。

- ・仕事以外の活動に従事している時間は平均で5.6時間程度で、半日から一日程度は研修やボランティア相互のコミュニケーション等のための時間に費やされていることがわかる。時間帯別にみても「5時間未満(0時間含まず)」が44.8%で最も多くなっている。

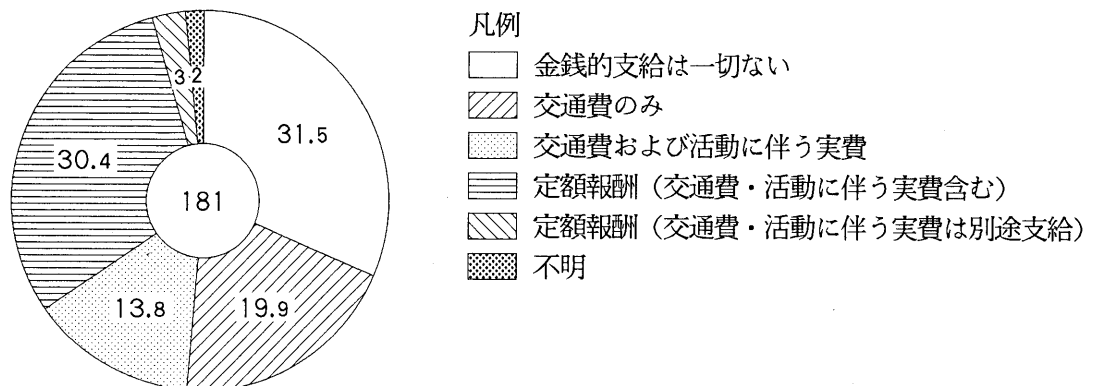
■ ボランティア参加者の意識



	調査数	Q5B ひと月に研修会等に従事する時間							調査数	Q5.2 平均
		0	5時間未満 (0時間含まず)	5時間以上10時間未満	10時間以上15時間未満	15時間以上20時間未満	20時間以上	不明		
合計	181	22	81	26	11	3	11	27	154	5.62
調査時点										
喜多方プラザ	24	3	13	3	-	-	-	5	19	2.32
武生市文化	31	3	11	-	2	1	5	9	22	7.77
いまだて芸術館	26	3	5	9	3	1	3	2	24	8.54
大阪府立	16	2	4	3	1	-	2	4	12	12.58
たんば田園交響	70	11	42	6	2	1	1	7	63	3.44
春日ふれあい文化	14	-	6	5	3	-	-	-	14	5.50

Q6-1 ボランティア活動に対して何らかの金銭的支給を受けていますか (○は1つ)。

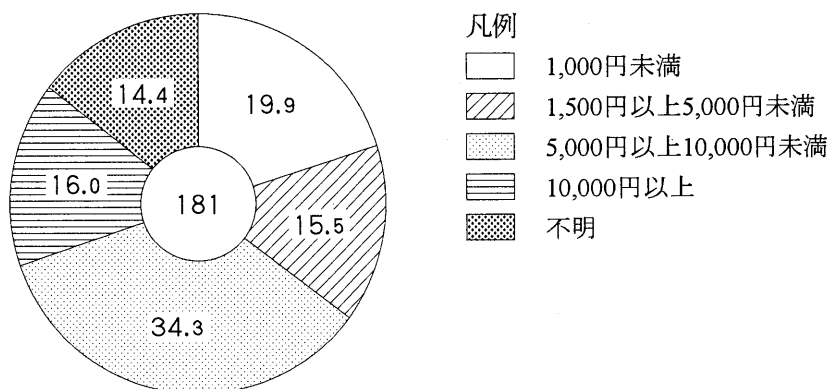
・金銭的支給の有無については、「一切ない」(31.5%)が最も多い一方で、「定額報酬(交通費・活動に伴う実費を含む)」(30.4%)が次に多くなっており、活動の内容にも関係するが、有償性についての考え方は劇場・ホールによって考え方が異なっている様子がうかがえる。



		調査数	Q6A ボランティア活動への金銭的支給の有無					不明
			金銭的支給は一切ない	交通費のみ	活動に伴う実費 交通費および	定額報酬 (交通費・活動に伴う実費含む)	は別途支給 ・活動に伴う実費 定額報酬(交通費)	
合計		181 100.0	57 31.5	36 19.9	25 13.8	55 30.4	5 2.8	3 1.7
調査時点	喜多方プラザ	24 100.0	6 25.0	-	2 8.3	16 66.7	-	-
	武生市文化	31 100.0	27 87.1	2 6.5	2 6.5	-	-	-
	いまだて芸術館	26 100.0	22 84.6	-	1 3.8	2 7.7	-	1 3.8
	大阪府立	16 100.0	1 6.3	11 68.8	3 18.8	-	1 6.3	-
	たんば田園交響	70 100.0	-	23 32.9	10 14.3	32 45.7	3 4.3	2 2.9
	春日ふれあい文化	14 100.0	1 7.1	-	7 50.0	5 35.7	1 7.1	-

Q6-2 費用の自己負担がある場合、それは年間どのくらいの金額ですか (○は1つ)。

- ・費用の年間自己負担額については、「5,000円以上10,000円未満」が34.3%と最も多く、次いで「1,000円未満」の19.9%となっている。
- ・『春日ふれあい文化センター』(42.9%)では、「1,000円未満」の層が最も厚く、ボランティアの自己負担は軽い例と言える。
- ・一方、『武生国際音楽祭』では「5,000円以上10,000円未満」が38.7%、「10,000円以上」が25.8%を占めており、特に10,000円以上の層のなかには20万~50万円規模の負担をしているひともおり、ボランティアの一部が音楽祭のパトロン的な役割を担っていることがわかる。
- ・『いまだて芸術館』では「1,000円未満」が34.6%と最も多くなっているものの、「5,000円以上10,000円未満」「10,000円以上」の層も各々23%程度おり、活動内容によって自己負担額に差が出ていることがわかる。



■ ボランティア参加者の意識

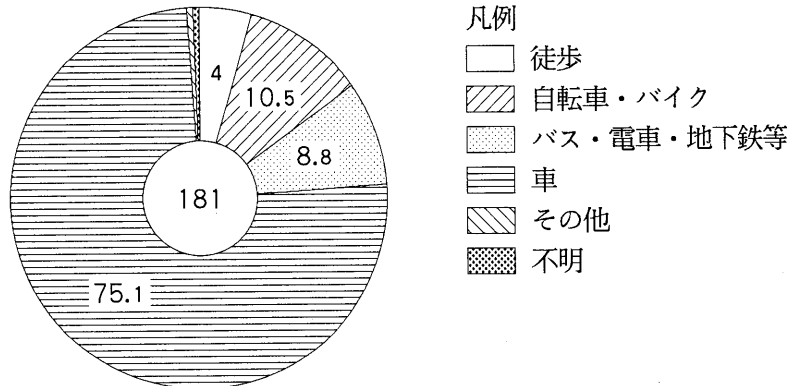
	調査数	Q6B 費用の年間自己負担額					10,000円以上の内訳			
		1000円未満	1000円以上5000円未満	5000円以上10000円未満	10000円以上	不明	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上	
合計	181 100.0	36 19.9	28 15.5	62 34.3	29 16.0	26 14.4	4	1	16	
調査時点	喜多方プラザ	24 100.0	1 4.2	13 54.2	4 16.7	3 12.5	3 12.5	-	2	
	武生市文化	31 100.0	4 12.9	2 6.5	12 38.7	8 25.8	5 16.1	-	8	
	いまだて芸術館	26 100.0	9 34.6	3 11.5	6 23.1	6 23.1	2 7.7	-	3	
	大阪府立	16 100.0	2 12.5	4 25.0	6 37.5	2 12.5	2 12.5	-	1	
	たんば田園交響	70 100.0	14 20.0	5 7.1	31 44.3	10 14.3	10 14.3	4	1	2
	春日ふれあい文化	14 100.0	6 42.9	1 7.1	3 21.4	-	4 28.6	-	-	

Q7-1 ボランティアをしている劇場・ホールまでは、どの交通機関を使われていますか（○は1つ）。

- ・使用している交通機関は「車」が75.1%と圧倒的に多く、公共交通機関を利用している人（8.8%）は1割に満たない。この点は立地都市の条件に大きく左右され、大阪のような大都市では68.8%が公共交通機関を利用しているが、喜多方やたんばではほぼ9割が車を利用している。

	調査数	Q7A 使用している交通機関						
		徒歩	自転車・バイク	バス・電車・地下鉄等	車	その他	不明	
合計	181 100.0	8 4.4	19 10.5	16 8.8	136 75.1	1 0.6	1 0.6	
調査時点	喜多方プラザ	24 100.0	2 8.3	1 4.2	-	21 87.5	-	-
	武生市文化	31 100.0	-	4 12.9	3 9.7	23 74.2	-	1 3.2
	いまだて芸術館	26 100.0	-	4 15.4	-	22 84.6	-	-
	大阪府立	16 100.0	1 6.3	1 6.3	11 68.8	3 18.8	-	-
	たんば田園交響	70 100.0	1 1.4	6 8.6	-	63 90.0	-	-
	春日ふれあい文化	14 100.0	4 28.6	3 21.4	2 14.3	4 28.6	1 7.1	-

Q7-1 使用している交通機関

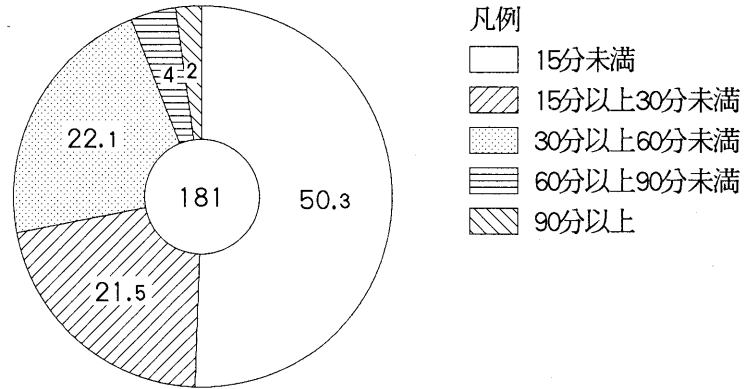


Q7-2 ボランティアをしている劇場・ホールまでは、平均何分くらいかかりますか。

- ・劇場・ホールまでの所要時間は、平均で20.7分。「15分未満」が50.3%とほぼ半数を占めている。
- ・事例別の平均では『大阪府立青少年会館』が50.13分と最も多く、大都市圏では近隣居住・勤務に関わらず幅広いエリアからボランティア活動に参加していることがわかる。
- ・一方、『喜多方プラザ文化センター』、『いまだて芸術館』では「15分未満」が各々58.3%、76.9%で、距離的には気軽に行ける身近な場所でのボランティア活動となっているようである。

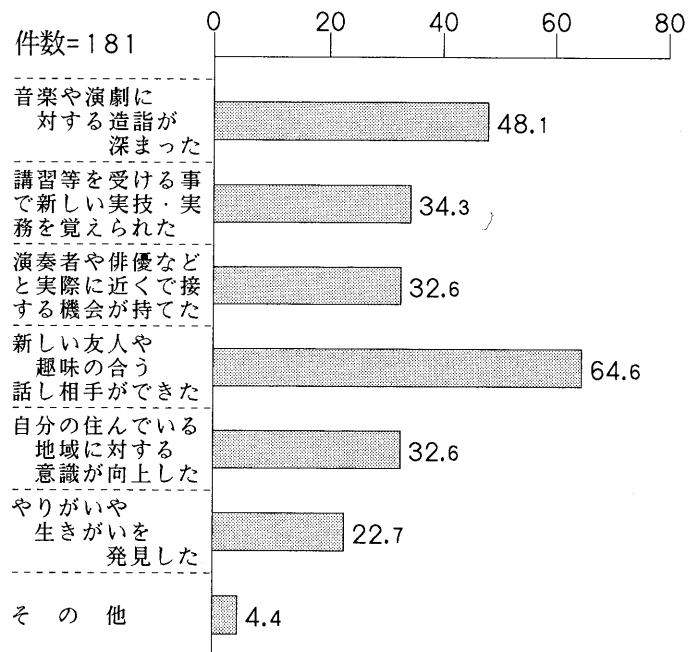
	調査数	Q7B 劇場・ホールまでの所用時間					調査数	Q7.2 平均	
		15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 90分未満	90分以上			
合計	181 100.0	91 50.3	39 21.5	40 22.1	7 3.9	4 2.2	181 100.0	20.72	
調査時点	喜多方プラザ	24 100.0	14 58.3	7 29.2	3 12.5	-	-	24 13.3	14.42
	武生市文化	31 100.0	15 48.4	12 38.7	2 6.5	2 6.5	-	31 17.1	16.94
	いまだて芸術館	26 100.0	20 76.9	3 11.5	3 11.5	-	-	26 14.4	12.04
	大阪府立	16 100.0	2 12.5	-	8 50.0	4 25.0	2 12.5	16 8.8	50.13
	たんば田園交響	70 100.0	33 47.1	13 18.6	23 32.9	-	1 1.4	70 38.7	20.93
	春日ふれあい文化	14 100.0	7 50.0	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	14 7.7	21.43

Q7-2 ホール・劇場までの所要時間



Q8 あなたがボランティア活動をして良かったと感じることはどんなことですか（〇は3つまで）。

- ・ボランティア活動をして良かったこととしては、「新しい友人や趣味の合う話し相手ができる」（64.6%）、「音楽や演劇に対する造詣が深まった」（48.1%）が上位にあげられている。
- ・また、裏方系のボランティア活動をしている『喜多方プラザ文化センター』や『たんば田園交響ホール』では、「講習等を受けることで新しい実技・実務を覚えられた」ことが各々62.5%、51.4%と上位に位置している。



■ ボランティア参加者の意識

	調査数	Q8 ボランティア活動をしてよかったこと									合計反応数
		音楽や演劇に 対する造詣が 深まった	講習等を受け た新しい実技・実 務を覚えられた	演奏者や俳優など と実際に近くで接 する機会が持てた	新しい友人や 話し相手ができ た	自分の住んでい る地域に向上した 意識が対する	やりがいや 生きがいを見 つけた	特にな い	そ の 他		
合 計	181 100.0	87 48.1	62 34.3	59 32.6	117 64.6	59 32.6	41 22.7	-	8 4.4	433	
調査地点	喜多方プラザ	24 100.0	13 54.2	15 62.5	6 25.0	11 45.8	7 29.2	4 16.7	-	1 4.2	57
	武生市文化	31 100.0	7 22.6	4 12.9	18 58.1	18 58.1	13 41.9	6 19.4	-	5 16.1	71
	いまだて芸術館	26 100.0	11 42.3	4 15.4	3 11.5	24 92.3	4 15.4	12 46.2	-	-	58
	大阪府立	16 100.0	8 50.0	3 18.8	6 37.5	13 81.3	2 12.5	4 25.0	-	1 6.3	37
	たんば田園交響	70 100.0	41 58.6	36 51.4	20 28.6	39 55.7	27 38.6	12 17.1	-	1 1.4	176
	春日ふれあい文化	14 100.0	7 50.0	-	6 42.9	12 85.7	6 42.9	3 21.4	-	-	34

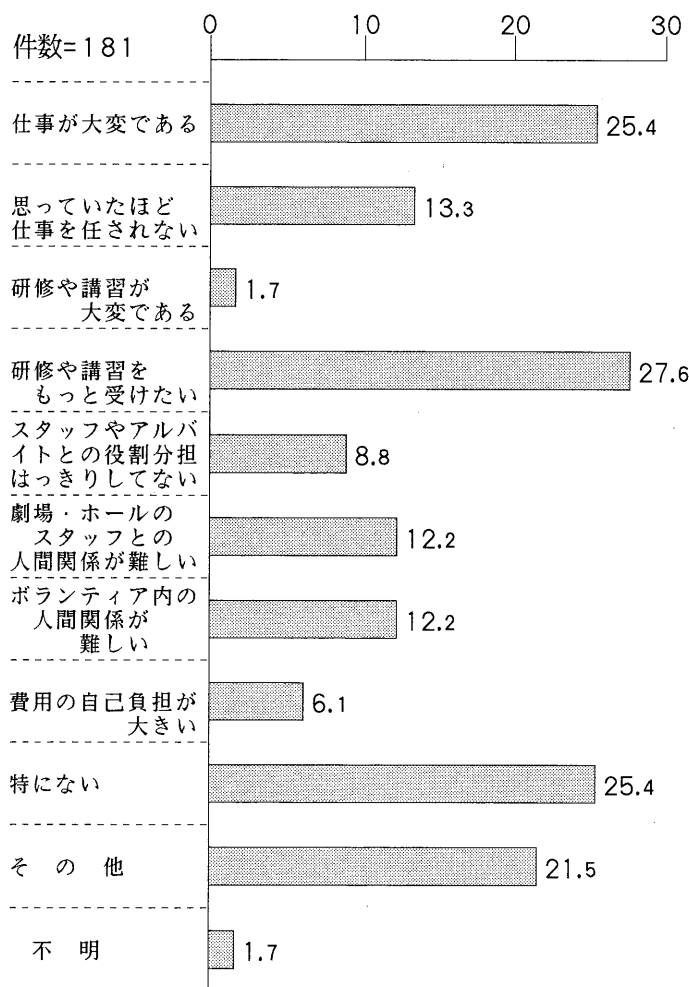
Q9 あなたがボランティア活動で抱えている問題点や期待と違った点がありますか（〇は3つまで）。

- ・ボランティア活動での問題点については、4分の1の25.4%が「特にな」と回答している一方で、「仕事が大変である」と答えた人も同数の25.4%いる。
- ・また、「研修や講習をもっと受けたい」（27.6%）が最も多くなっており、経験を重ねるにつれて活動内容の充実、向上に対する欲求が高まっていることがわかる。『たんば田園交響ホール』では37.1%が「特にな」と答え「研修や講習をもっと受けたい」が27.1%と次に続いており、全体的に前向きな姿勢がうかがえる。

	調査数	Q9 ボランティア活動での問題点等											合計反応数	
		仕事が大変である	仕事に任されたい	研修や講習が大変である	研修や講習をもっと受けたい	スタッフやアルパイトの役割が重い	はつきりしてない	劇場・ホールとの関係が難しい	人間関係が難しい	ボランティア内の人間関係が難しい	費用の自己負担が大きい	特にな		そ の 他
合 計	181 100.0	46 25.4	24 13.3	3 1.7	50 27.6	16 8.8	22 12.2	22 12.2	11 6.1	46 25.4	39 21.5	3 1.7	279	
調査地点	喜多方プラザ	24 100.0	6 25.0	1 4.2	-	8 33.3	2 8.3	3 12.5	1 4.2	-	7 29.2	10 41.7	-	38
	武生市文化	31 100.0	17 54.8	2 6.5	1 3.2	2 6.5	6 19.4	3 9.7	5 16.1	5 16.1	4 12.9	6 19.4	1 3.2	51
	いまだて芸術館	26 100.0	7 26.9	5 19.2	-	8 30.8	1 3.8	5 19.2	6 23.1	-	5 19.2	2 7.7	1 3.8	39
	大阪府立	16 100.0	3 18.8	2 12.5	1 6.3	3 18.8	2 12.5	3 18.8	3 18.8	4 25.0	3 18.8	4 25.0	-	28
	たんば田園交響	70 100.0	13 18.6	6 8.6	1 1.4	19 27.1	2 2.9	5 7.1	7 10.0	2 2.9	26 37.1	14 20.0	1 1.4	95
	春日ふれあい文化	14 100.0	-	8 57.1	-	10 71.4	3 21.4	3 21.4	-	-	1 7.1	3 21.4	-	28

■ ボランティア参加者の意識

Q9 ボランティア活動での問題点等

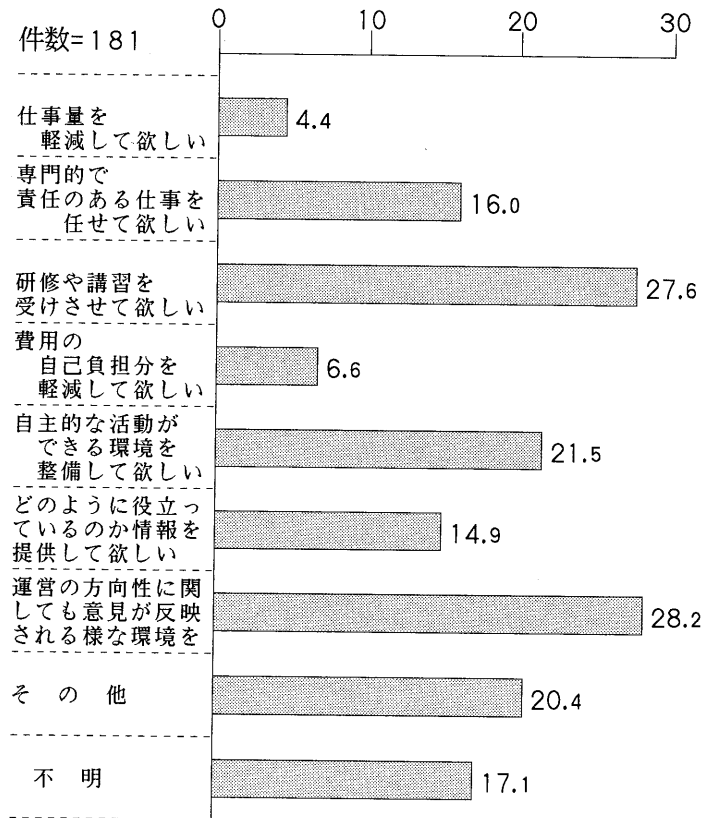


Q10 現在のボランティア活動に対する要望はありますか (〇は3つまで)。

- ボランティア活動に対する要望としては、「研修や講習をうけさせて欲しい」(27.6%) や「運営の方向性に関しても意見が反映されるような環境を整備して欲しい」(28.2%) が上位にあげられており、ボランティア活動に対するより積極的な関わりを求めている状況がうかがえる。
- 「その他」としてあげられた具体的な要望には、以下のようなものがある。
- まず、技術面の向上に対する要望が、裏方系のボランティアに強く見られる。職業として毎日あるいは定期的に関わるわけではないため、高度化する欲求と現実的に修得している技術の差に悩む声が多く聞かれた。
- また、活動を始める時点での経験や活動の頻度によってボランティア内で技術格差が生まれ、実際の現場で活動できるのが限られた層になってしまい、内部の平等性や将来性に対する不安の声も聞かれた。
- 一方、ボランティアによる企画を採用して事業を実施しているケースでは、実際にそれを実現する段階でのプロセスが把握できていないため、制作から運営に関する実務面の講習等を望む意見もあった。

■ ボランティア参加者の意識

- ・また、有職者がほぼ4分の3を占めていることから、「時間的にボランティア活動をする時間があまりない」「自営業なので仕事の時間を削ってボランティアをしている」「土日にボランティア活動をするとうみがない」などの意見が多くあげられており、ボランティア活動に対する気持ちと相反する現実面での時間調整に苦慮している状況が強く感じられる。



	調査数	Q10 ボランティア活動への要望									
		仕事量を軽減して欲しい	専門的で責任のある仕事を任せて欲しい	研修や講習を受けさせて欲しい	費用の自己負担分を軽減して欲しい	自主的な活動ができる環境を整備して欲しい	どのように役立っているのか情報を提供して欲しい	運営の方向性に関しても意見が反映される様な環境を	その他	不明	合計反応数
合計	181	8	29	50	12	39	27	51	37	31	253
	100.0	4.4	16.0	27.6	6.6	21.5	14.9	28.2	20.4	17.1	
調査地点	喜多方プラザ	24	4	4	-	2	6	6	9	5	33
		100.0	8.3	16.7	16.7	-	8.3	25.0	25.0	37.5	20.8
	武生市文化	31	3	2	4	3	11	5	8	8	3
		100.0	9.7	6.5	12.9	9.7	35.5	16.1	25.8	25.8	9.7
	いまだて芸術館	26	1	5	10	-	7	5	7	4	3
		100.0	3.8	19.2	38.5	-	26.9	19.2	26.9	15.4	11.5
	大阪府立	16	1	3	3	4	4	-	8	1	2
	100.0	6.3	18.8	18.8	25.0	25.0	-	50.0	6.3	12.5	
たんば田園交響	70	1	13	21	5	11	9	15	11	17	
	100.0	1.4	18.6	30.0	7.1	15.7	12.9	21.4	15.7	24.3	
春日ふれあい文化	14	-	2	8	-	4	2	7	4	1	
	100.0	-	14.3	57.1	-	28.6	14.3	50.0	28.6	7.1	

■ ボランティア参加者の意識

- 一方、専業主婦の場合でも「子育て中で夕方の外出が難しくなった」など、年齢的な問題や活動の時間帯が障害になって積極的な参加ができないというケースがあることもわかった。
- 年齢的な面では、“年代の違う人達との新しい出会い”を肯定的に受けとめている場合と、若年層からは経験や知識の差から来る劣等感によって活動の意欲が薄れたという意見の両方が聞かれ、“多様な年齢層が共に活動できる”という特徴をいかに有効に活用するか、というマネジメント側の力量が問われる結果となっている。
- また、40歳～50歳代が中心となっている事例では、「若い人が入って来ない」など、10数年継続してきた活動を次世代に引き継ぐ段階に来て、ボランティア制度だけでなく施設運営の将来性に対する不安も感じられた。
- 有償性の問題では、研修・講習に対する要求とも関連するが、「有償である以上ボランティアといえどもプロである」という意見もあり、高い意識での活動に繋がっている面も見られる。一方では、「お金のためにやっているのではないことを理解して欲しい」など活動内容の充実を求める声もあった。集計結果を見ても、「費用の自己負担分を軽減して欲しい」と回答しているのは全体のわずか6.6%で、若年層が多い『大阪府立青少年会館』の25.0%を除けば、ほとんど無いと言える。
- 行政との関係では、“柔軟に対応してくれている”という意見もある一方で、肯定的に受けとめられていない意見も少なくなく、事例によって行政とボランティアの関係は必ずしも安定的ではなく、微妙な問題をはらんでいるようである。また、「担当者が異動しても制度が存続されるようにして欲しい」という意見もあり、現状がある特定の個人に依存したものであることを認識したうえで、ボランティアの制度としての早期確立が望まれている状況がうかがえる。
- “ボランティア”に対する行政側の意識が問題になっているケースもあり、中には「行政の人も休日や夜間に実際ボランティア活動を体験してみたい」という厳しい意見も見られた。

以上